

平成28年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	さいたま市地域中核施設プラザノース
(2) 施設概要	<p>①所在地 さいたま市北区宮原町1丁目852番地 1</p> <p>②施設の設置目的 地域に密着した文化活動や生活活動、生涯学習などの様々な活動に幅広く対応し、地域の活動拠点となる。</p> <p>③施設の概要 文化・芸術・レクリエーション等の活動の場として地域の拠点となる複合施設である。 ●北区役所●北図書館●ホール(403席)●楽屋(5室) ●リハーサル室(3室)●多目的ルーム●音楽スタジオ(3室) ●和室(4室)●書斎(5室)●キッチンスタジオ●セミナールーム(7室) ●陶芸アトリエ●絵画アトリエ●造形アトリエ●CGアトリエ ●交流スタジオ●ギャラリー(8室)●ユーモアスクエア ●自由読書スペース●映写室●遊戯室●託児室●駐車場(183台)</p>
(3) 指定管理者	プラザノースマネジメント株式会社
(4) 指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成20年5月1日～平成35年3月31日</p> <p>②指定管理料 平成26年度456,394千円、平成27年度458,034千円、平成28年度478,592千円</p>
(5) 施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 350,213人(前年度311,948人) ・稼働率37.3%(前年度36.2%) ・利用率65.8%(前年度64.3%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種文化芸術事業の実施 <p>ホール事業は「劇団東少ファミリーミュージカル『アルプスの少女ハイジ』」「Domain of Art18中谷ミチコ展」「好楽・米助二人会」「国際マンガフェスティバル」「ユーモアフォトコンテスト」など大型事業を実施した。「プラザノースこども劇場」は毎月第1日曜日開催として回数を倍増し、また「ノース・ぶらっと寄席」は媒体訴求強化により入場者数増となった。人気の「ノース・ティータイム・コンサート」も手軽な入場料と短い時間で楽しめる良質の企画として定着し、入場者数が増加した。</p> <p>また講座事業では引き続き高齢者向け健康増進プログラム・中高年向け音楽講座として、ミュージカル・長唄等の歌唱、健康のための発声講座が、食農教育プログラムとして、無添加パンの講座、自分を磨くメディア講座として、SNSはじめて講座が人気であった。子ども向けではトリエンナーレ関連事業としてこども絵画教室、こども造形教室を実施した。</p> <p>②維持管理業務の状況</p> <p>建築物保守管理業務、建築設備保守管理業務、舞台機構・舞台設備保守管理業務、備品等保守管理業務等、外構施設保守管理業務、清掃業務、植栽維持管理業務、警備業務、環境衛生管理業務、設備日常運転管理業務、駐車場等運営業務、修繕業務</p> <p>③その他(自主事業)</p> <p>ホール事業「朴葵姫ギター・リサイタル」「プラザノースdeクリスマス」の他、教室・講座では参加者に目標を持って取り組んでいただける内容として、絵画・書道・ヒップホップ・クラフトワーク・陶芸等などの施設特性を活かした事業を実施した。</p> <p>さいたまトリエンナーレ2016連携プロジェクトとして「あらい太朗とみんなでつくるトリエンナーレ」として4事業を実施し、さいたまトリエンナーレ2016の集客に貢献した。</p>

(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理料 478,592千円 (前年度458,034千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持管理業務 163,215千円 (前年度157,205千円) ・修繕業務費 20,070千円 (前年度 16,397千円) ・コミュニティ、ホール等運営業務費 160,064千円 (前年度154,169千円) ・図書館運営業務費 79,098千円 (前年度 76,185千円) ・駐車場等運営業務費 19,908千円 (前年度 19,175千円) ・市の事業に関する運営業務費 36,236千円 (前年度 34,902千円)
(7)その他	<p>利用者からの意見・要望等への対応など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「貸出相談受付書」を作成し、貸館新規利用者受付時に運用している。利用内容の把握が正確かつ迅速になり、よりスムーズに利用者の要望に応えられる体制を作った。 ・抽選会のフローを一部変更し会場での待ち時間短縮に努めた結果、利用者満足度の向上につながった。 ・音楽スタジオに譜面台を常設し、利便性の向上に努めた。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
貸出施設の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・大型諸室(ホール・多目的ルーム・ギャラリー)利用者に次回利用の確認を行い利用促進を図った。また、施設利用案内のチラシを新規で作成し、PRや案内の際に使用した。 ・貸出施設利用者の展示「スマイルPLAZANORTH2016」の開催を「ノースであそぼう! あーとひろばの日2016」にあわせて実施し、活動内容を体験できる場を提供し、相互理解の機会を創出した。 ・「美化チェックリスト」を作成し毎日館内点検を行った。結果、掲示物等に関するご指摘が減り、館内環境の向上につながった。
広報活動の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS(Twitter、Facebook)を利用し、事業の告知や欠員の出た講座の再募集など即時性のある情報発信を行った。 ・広報スケジュールを見直し、事業の早期告知など周知を徹底したことにより、入場者数が増加した。
ユーモアに係る企画の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・隔月で開催していた「えほん劇場」を「こども劇場」として毎月開催。ファミリー層を中心に定着し、入場者数も大幅に増加した。 ・「さいたまトリエンナーレ2016」連携プロジェクトとし、ユーモアスクエアの活用、ユーモア事業の開催などさまざまなイベントを開催し、周知に貢献した。
接遇品質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・インフォメーションカウンタースタッフの利用者対応やカウンター業務におけるスキルチェックを実施し、業務内容の再確認と業務スキル向上を図った。 ・定期的なスタッフミーティングにおいて意見交換の時間を増やし、日々の問題点や課題を抽出し共有化を図ることで利用者満足度の向上に繋げた。 ・他施設での業務研修に参加し、意見交換と情報共有を行い、スキルアップを図った。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」

- ・「さいたま市コミュニティ条例」「同条例施行規則」を遵守し、平等の利用に努めた。
- ・貸館利用促進のための販促チラシを作成し、施設利用の向上を図った。また、貸館施設利用者人数も増加し、開館以来はじめて35万人を達成した。
- ・貸出施設の稼働率・利用率、貸出団体の利用状況を過去数年に遡り検証・把握を行い、そのデータを元に利用団体に対してアプローチを図るなど施設利用向上のための施策を行った。

「経費の削減」

- ・昨年同様ホールなどの大規模諸室で利用終了後の照明、空調を速やかに落とす、アトリウム内の必要照度以上の400W水銀灯の取り外し、館内廊下部分の吹き上げ空調の停止など、日常的な節電行動の継続を図った。電力使用量を前年度比で北区役所、北図書館は99.9%、その他は99.4%、平成22年度比で北区役所、北図書館は84.4%、その他86.4%にとどめた。

「適正な管理運営の確保」

- ・コンプライアンス、リスクセミナー、労務セミナーなど各種研修を行い、危機管理意識の強化を図った。
- ・植栽の植え替えなどの美観の確保や、適切な小規模修繕・予防修繕を行い、利用者が安全に施設を利用できるよう、適切な維持管理を行った。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局文化部文化振興課)

総合評価(B) ※A~D

1 項目別の評価

(1) 「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

- ・SNSの活用により広く情報発信し、市民サービスの向上に努めている。
- ・事業では、ティータイムコンサートの回数を増やすことで、事業の定着に努めている。また、平成28年度はジャズをとり入れることで、新たな集客層を開拓するなどの向上が見られた。
- ・職員のスキルチェックをおこない、業務であやふやに覚えているところかはないか、どんなことができないのかを明確にし、それに沿って研修の計画をするなどの取組がみられた。
- ・稼働率の向上がみられた。

(2) 「経費の削減」に対する評価

- ・ホールの電気について、削減努力がみられた。

(3) 「適正な管理運営の確保」に対する評価

- ・施設内の美化は常に保たれていた。
- ・施設細部にまで点検が行き届いており、早期予防に努めていた。また、緊急の修繕にも迅速に対応している。
- ・周辺商業施設との連携が図られており、地域一体の施設運営が図られている。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、利用者の目線に立ってニーズの把握を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、安心・安全な施設の維持管理を努めること。